



For Teen's

2026年3月号

GOTANDA LIBRARY TIMES



今月のテーマ：春は幸せの予感！

『春のウサギ』

Y933 / 八

ケヴィン・ヘンクス / 作 さとこ 原田 勝、大澤 聡子 / 訳
小学館



12才のアミーリアは幼いときに母を病気で亡くし、大学教授の父と二人暮らし。しかし、父は自分に関心がないようにみえる。遠くに引っ越してしまった親友の所へ春休みに連れて行ってもらえなかったアミーリアだが、通っている陶芸教室とうげいきょうしつでケイシーという男の子に出会う。ケイシーは両親の離婚を何とか防ぎたいと画策中。二人は、見知らぬ通りすがりの人を観察し、その人の人生を空想する遊びをするうちに、ある女性をみて、アミーリアの亡くなったお母さんが実は生きているのではないか、という想像を膨らませ始め、事態は思わぬ方向に進んでいく。

タイトル	作者	出版社	請求記号
『春休みに出会った探偵は』 <small>たんてい</small>	おおさき こざえ 大崎 梢 / 著	光文社	Y913 / オ
『春夏秋冬あやかし奇譚』 <small>しゅんかしゅうとう きたん</small>	ちふゆ くろさき 千冬、黒崎 リク、 <small>さくらかわ</small> 桜川 ヒロ、 <small>しのぶまる</small> 忍丸 / 著	河出書房新社	Y913 / シ
『月曜日の抹茶カフェ』 <small>まっちゃ</small>	あおやま みちこ 青山 美智子 / 著	宝島社	Y913 / ア



『空木の庭』

Y913 / イ

うつぎ とう みく / 作 静山社

空木の花言葉は「秘密」。8年前にキャンプ場から姿を消した幼馴染の絹ちゃん。マスクで顔をかく隠す同級生の絵菜子。あのときこうしていれば、もう一步踏み込んでいたらと後悔するより、たとえ嫌がられても行動を起こさなければならぬときがある。ひとりで抱え込むことが本当の強さだとは思いたくない。「逃げる」ことが必要なときだってあるのだから。

